【福島民報新聞社　歯科コーナー】

2014年6月16日掲載

病院歯科の役割
積極的に受診 相談を

　歯科疾患の多くは、虫歯と歯周病です。それらは歯性感染症といって、細菌の感染によって引き起こされます。治療は感染に対する治療と、その後の歯の欠損や喪失に対する治療がほとんどを占めます。そのほかにも歯科領域にはさまざまな疾患が存在します。その種類は非常に多く、多岐にわたりますが、数は少なく特殊な領域の疾患となっています。
　これまで歯科治療を受ける患者さんは、健康で自立して歯科診療所に通院できる方が多い印象でした。しかし医学の進歩によって、以前は入院加療が必要であった疾患や病態も、外来通院できる時代になりました。同時に、多くの基礎疾患をお持ちの患者さんが、普通に歯科診療所を訪れるようになっています。
　最近では、さまざまな取り組みによって、これらの患者さんの歯科治療も安全に受けられるようにはなっていますが、中にはリスクの高い患者さんも多く含まれるようになり、より管理が難しい患者さんや認知症などを含む非協力状態の強い患者さんも増えています。これらの多くは歯科診療所での治療が困難な場合、病院歯科での対応に広がっています。
　受診が困難と諦めるのではなく、積極的にお近くの歯科医師に相談してみましょう。